みずき便り

Mizuki Dayori

特別地方公共団体
神奈川県内広域水道企業団　広報誌

NO.31
2019.2

未来につなごう!
広域水道設立50年

50th anniversary

シリーズ 企業団の歴史を知ろう❸

企業団子ども議会開催！

表紙写真：議場と、子ども議会の様子

シリーズ　企業団の歴史を知ろう③

企業団 子ども議会開催！

神奈川県内広域水道企業団（以下企業団）に議会があることを知っていましたか。企業団議会は構成団体の各議員が集まって構成され、予算などの重要なことはこの議会で決めています。

シリーズ「企業団の歴史を知ろう」も最終回。

今回は、企業団の「今」と「これから」に目を向け、次世代である小学生たちに議員の立場から、改めて企業団の役割や実際の仕事を調査してもらう「子ども議会」を開催しました。

議員として参加してくれたのは伊勢原市立伊勢原小学校と、同市立石田小学校の生徒たち11人です。企業団からは吉川企業長をはじめ担当の職員が答弁に立ち、実際の議会そのものの形で、真剣に、そして楽しく話し合いました。

質問に答えてくれた人たちです

子ども議会のまとめ役です

総務副部長
大江 伸治さん

経営計画課長
小池 健一さん

浄水課長
津田 宏さん

議会事務局長
菱山 直樹さん

議長

議長を務めます鈴木です。子ども議会の開会にあたり企業長から挨拶があります

〈吉川企業長の挨拶〉

子ども議会が活発な議論のもと行われ、議員の皆さんの水道に対する理解が深まり、私たちにとっても有益な時間になればと願っております。

企業長
吉川 伸治さん

子ども議員として施設を調査しました

まずは、議長から調査依頼書を企業団の担当者に提出しました。この依頼書に基づき、施設調査がスタートしました。

まず、災害時には対策本部が置かれる、災害対策室です。県内の企業団施設と無線で結ばれていて、万が一のときの司令室になります。モニターカメラで各地の浄水場などを常に監視できます（写真右はモニターカメラを操作する子ども議員）。ここで企業団の歴史や役割りなどについての説明を受けました。

子ども議員の皆さん

議長
伊勢原小学校 4年1組
鈴木 詩歩さん

伊勢原小学校 4年1組
朝倉 太陽さん

伊勢原小学校 4年1組
小林 夏弓さん

伊勢原小学校 4年2組
田邊 翠海さん

伊勢原小学校 4年2組
迎 諄乃佑さん

伊勢原小学校 4年3組
石塚 愛奈さん

伊勢原小学校 4年3組
今井 彩芭さん

伊勢原小学校 4年3組
今坂 有喜さん

石田小学校 4年2組
植木 龍馬さん

石田小学校 4年2組
脇 穂花さん

石田小学校 4年3組
池田 愛さん

施設の調査を終え、質疑応答に移ります

議長

〈主な質問と答弁〉

県内すべての浄水場で行われている検査の基準は同じですか。

水道水の基準は検査する項目やその基準値が国(厚生労働省)で決められています。「水質基準項目」と言われ、全部で51項目あります。水道水は必ずこの基準を満たさなければならないことと決められています。なお、企業団では、国の水質基準値よりもさらに厳しい独自の水質目標値を決めて水質管理を強化しています。

議長席の鈴木さんと議会事務局長の菱山さん

どの顔も真剣

大きな地震や災害の時、水道は使えるのですか。

地震、災害、事故などが発生した場合も水道が使えるようにいろいろな対策をしています。企業団は相模川と酒匂川の二つの川から水を取っていますが、その二つの川の水は導水管同士でつながっていて、地震などでどちらかの川から水が送れなくなっても、もう一方の川から水を送ることができます。浄水場などの施設は神奈川県で想定されている最大規模の地震でも壊れないように耐震補強の工事を進めており、水を運ぶ管路も地震でも壊れにくい耐震(適合)性のあるものを使用しています。そして万一壊れてしまっても、すぐ直せるように準備しています。

このように地震や災害が発生した時も継続して水道が使えるようにさまざまな対策をしっかりとしています。

未来に向けて、環境を守るために取り組んでいることはありますか

水道は自然の恵みから多くの恩恵を受けて成り立っています。こうした自然や環境の恩恵を忘れずに、自然環境へ負担が大きくならないような取り組みにも力を入れています。

例えば、浄水場などの広い敷地のメリットを活かして、水力発電や太陽光発電設備を設置して、エネルギーを新たに生み出し、活用しています。

また、水道施設をつくることで、そこにいた動物や植物の環境が失われないよう、ビオトープ施設というものをつくって、そこで育てたりしています。

このような取り組みで、未来にもこの大切な環境が守られるように努力しています。

企業団担当者も真剣に答弁

屋上からは地上約64mある鉄塔を調査。この鉄塔は各施設との無線連絡のためのものです。緊急時にも情報伝達がとぎれないよう、無線が使われています。

次は水運用センターです。気象状況などを考えながら、取水する量を決めています。取水→導水→浄水→送水の水道の仕組みを全てコントロールしています。

最後は水道水を送るときの高低差を利用した小水力発電設備です。このほか企業団では浄水場のスペースを利用した太陽光発電など、環境を守る取り組みを行っています。

みんなにとって、便利で暮らしやすい社会となるためには、水道企業団の果たす役割は何ですか。

昨年次々に起こった自然災害で、水道が暮らしに欠かせないものであることが改めて分かりました。水は人の命を支える大切なものですね。

企業団は昭和44年に設立されました。その目的は、当時の急激な人口の伸びに備え、必要な水をまかなうことでした。しかし、現在は施設が老朽化し、水道管も古くなって、建て替えや交換が必要になっています。

時代は人口減少時代、技術の継承が難しく、人員不足が目立っています。少ない予算で効率良く事業を行うためには、更に広い地域での連携が求められています。

企業団は、水道分野のプロ集団ですので、今後ともこうした求めや動きに対して、期待に応えていくことが必要となっています。

議会が終わった後に、みんなで記念撮影

県民･市民の皆様の暮らしや命を守るため、安全で良質な水道水を安定的に供給するのが私たち企業団の役割であり、その使命をしっかりと果たしていきます。

議長

これより「子ども議会宣言」を採択します

〈宣言書の読み上げ〉

子ども議会宣言を全員で読み上げる

〈宣言書の採択〉

全員起立で子ども議会宣言を採択

子ども議会宣言書（左）
宣言書に全員で署名（右）

〈宣言書の提出〉

吉川企業長に議会宣言を手渡す鈴木議長

私たちの「子ども議会宣言」です

神奈川県内広域水道企業団 子ども議会宣言

私たちは本日、神奈川県内広域水道企業団の施設を見学し、また議会においては、水道水に関するさまざまな質問をしました。それによって、普段何気なく使っていた水道水について、多くのことを学びました。よって、私たちがこれからも水道水を安全に安定して使えるように、下記の項目を宣言します。

1、私たちは、水を無駄づかいしないで、節水して大切に使います。
2、私たちは、水を使う時や、流すときのルールをしっかりと守ります。
3、私たちは、水源となる河川に、ゴミなど水を汚す物を流しません。
4、私たちは、環境に配慮し、街中でポイ捨てをする人がいたら、やめるよう呼び掛けます。

今年、企業団は50周年を迎えるということですが、この1年をどういった年にしたいですか

50周年を記念して以下のようなさまざまな企画が進んでいます

水道作文コンクールを実施

設立50周年を記念して、水道に関することをテーマに「作文コンクール」を実施します。

対象は県内の小学4年生と5年生。4月8日まで応募を受け付けており、多くの方の参加、そして子どもたちのみずみずしい感性にあふれた作品を募っています。優秀作品は、「みずきフェスタ」で表彰を行う予定です。

みずきフェスタの内容充実

毎年、海老名市社家の取水管理事務所で行っている「みずきフェスタ」。今年はイベント内容を更に充実させ、6月1日（土）に開催します。初夏の季節の中、楽しいアトラクションやステージイベントなどの催しが繰り広げられます。毎年人気の出店ブースもお楽しみに。

水缶「やまなみの雫」登場

「水缶」の名称とラベルデザインのリニューアルをしました。新しい名称は「やまなみの雫」です。ラベルデザインは、横浜デジタルアーツ専門学校の学生の協力によるものです。6月開催予定の「みずきフェスタ」を皮切りに、PRイベントなどで、配布していく予定です。

川崎市上下水道局キャラクター ウォータン

川崎市上下水道局

日本水道協会関東地方支部南関東ブロック合同防災訓練を実施しました

開会式の様子（川崎市上下水道事業管理者挨拶）

川崎市を震源とする地震が発生したとの想定で、応援給水を受ける訓練を２月５日に実施しました。当日は東京都、神奈川県、千葉県、山梨県から11台の給水車が長沢浄水場に集結し、応援給水を行う避難所や医療機関まで給水車で進行する訓練を行いました。

今回の訓練のように他都市から応援に駆けつけてもらえるのは心強いことですが、実際に地震が発生した場合には応援隊が到着するのは早くても地震発生から３日後となります。それまでは川崎市が自力で対処しなければなりません。各ご家庭でも、地震発生に備えて１人１日３リットルとして３日分（できれば７日分）の飲料水を備蓄されるようお願いいたします。

横須賀上下水道イメージキャラクター アクアン

横須賀市上下水道局

桜の散策 走水水源地

走水水源地の桜

横須賀市上下水道局では、桜の開花時期に合わせ、普段は立ち入ることのできない走水水源地を一般開放します。東京湾に面した走水水源地には115本の桜が咲き誇り、青い海とのコントラストは見ごたえ十分！一見の価値があります。皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

【場所】 横須賀市走水１-２-１ 走水水源地

【期間】（予定）３月29日（金）～４月７日（日）午前９時～午後５時（開花状況により開催期間は変更となる場合があります。）

【催し】
- 走水産海苔など地産地消商品の販売（土・日曜日のみ）
- 日本遺産構成文化財『走水低砲台跡ガイドツアー』（３月30日（土）、31日（日）のみ。当日受付、参加費大人450円、小学生250円、未就学児50円、雨天中止）

【注意】
- 火気など危険物、動物（補助犬を除く）の持ち込みはできません。
- 事前の場所取りはご遠慮ください。

詳細は、横須賀市上下水道局HPで　横須賀水道　桜　検索

横浜市水道局キャラクター はまピョン

横浜市水道局

「第11回水道技術国際シンポジウム」が開催されます

2019年７月9日（火）から11日（木）までの3日間、横浜で「第11回水道技術国際シンポジウム」が開催されます。

このシンポジウムは、日本で唯一定期的に開催される水道技術に関する国際会議で、横浜での開催は７年ぶりとなります。水道事業が抱える課題の解決に向けて、国内外の水道関係者が研究発表や議論を行います。

シンポジウム（講演会や分科会等）へは参加登録（有料）が必要となりますが、同時開催される展示会は参加登録なしで、無料でご覧いただけます。

最新の水道技術に関わる機器やシステムの紹介のほか、ブースツアーや横浜水道の技術研修施設の見学会も予定されていますので、ぜひお越しください。

水道技術国際シンポ　検索

県営水道キャラクター カッピー

神奈川県企業庁

現在募集中！ 水道フレンズになろうよ♪

浄水場見学の様子

お客さまと県営水道が友だちのように交流して水道に関する疑問や日頃の不安を解消し、これからの水道を一緒に考える、そんな水道フレンズになってみませんか。

水道フレンズと職員の意見交換会、水道にまつわる情報を盛り込んだメール配信やアンケート調査、夏休みにはお子さまやお孫さまと一緒に参加するイベントなど、様々な活動を予定しています。

ぜひ県営水道フレンズホームページ内の応募フォームよりお申し込みください♪

応募締切は３月14日(木)です。

（※県営水道の給水区域内にお住まいの方のみ応募できます。詳しくはホームページをご覧ください。）

水道フレンズ　検索

平成31(2019)年度
予算の概要

平成31年度予算では、水道利用者の皆さまの生活の基盤と社会経済活動を支えるため、4年目を迎える事業計画(平成28～32年度)に基づき、事業計画の総仕上げに向け、水道用水の安定供給の維持に欠かせない施設整備などを重点的に実施します。

■用水供給先
神奈川県、横浜市、川崎市及び横須賀市

■構成団体への予定供給水量
年間総供給水量

1日平均供給水量　1,313,481㎥
(東京ドーム1杯分＝124万㎥)

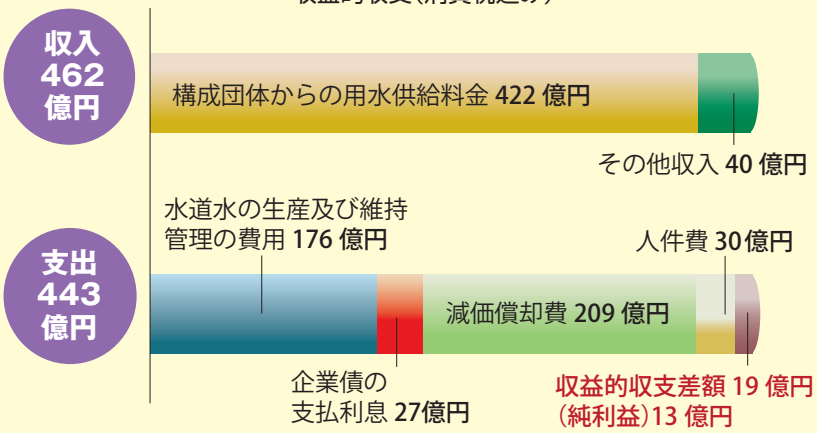
■事業計画の着実な実施
水道用水の効率的な安定供給のため
施設老朽化対策ほか　約72億円

災害や事故に強い広域水道のため
地震対策・浸水対策ほか　約15億円

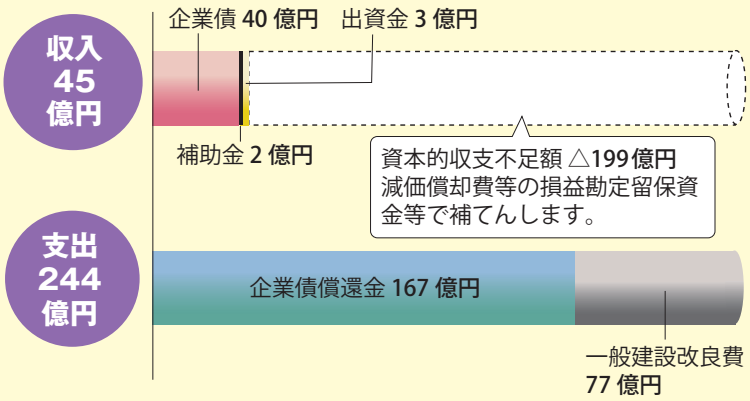
■経営基盤の強化
健全な財務体質の維持・改善(収益的支出の抑制、企業債(地方債)残高の縮減)。
組織の活性化と人材育成の強化・充実(職員研修及び他団体人事交流の促進)。
働き方見直しの取組み

※詳しくは神奈川県内広域水道企業団のホームページをご参照ください。

水道水の生産に関する予算
収益的収支(消費税込み)



施設の建設・改良に関する予算
資本的収支(消費税込み)



※グラフ中の数字は端数処理のため、計において一致しない場合があります。

「水あれこれトーク」は今回お休みします。

プレゼントコーナー

「みずき便り」読者の中から、抽選で5名の方に企業団オリジナルの「やまなみの雫」340mℓ缶1ケース(24本入)をプレゼントします。ご希望の方はハガキ、FAXまたはメールで、住所／氏名／電話番号／年齢／職業／今号の内容へのご意見・ご感想を明記の上、下記までお寄せください。

応募締め切り：平成31年4月12日(金)必着　※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募先：〒231-8445　横浜市中区太田町2-23神奈川新聞社クロスメディア営業局内「やまなみの雫プレゼント」係　FAX 045-227-0765　Eメール kokoku@kanagawa-np.co.jp

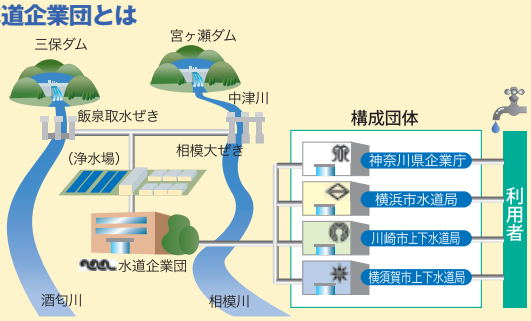
●プレゼントに関するお問い合わせは ☎045-227-0737 までお願いいたします。

編集後記
今回、次世代を担う子ども達の視点から水道事業に関する素朴な疑問などを聞いてもらう『子ども議会』を企業団の『今』と『これから』に焦点を当てるというコンセプトの基に開きました。

今回開会した『子ども議会』ですが、企業団では初めての試みで、事前準備など大変なことも多々ありましたが、当日の子ども議員の皆さんから「勉強になった」「楽しかった」というお声をいただき、「やってよかったなぁ」という達成感と充実感はひとしおでした。

今回の子ども議員たちがこれをきっかけに水道事業に興味を持ってくれたらとてもうれしいです。　(総務・広報係)

神奈川県内広域水道企業団とは
三保ダムと宮ヶ瀬ダムに貯めた水を浄水処理し、構成団体を通じて、利用者の皆様に、安全で安心な水道水を供給している「特別地方公共団体」です。



発行／平成31年2月 神奈川県内広域水道企業団
〒241-8525 神奈川県横浜市旭区矢指町1194番地
TEL.045-363-1111（代表）　FAX.045-363-1121
https://www.kwsa.or.jp　神奈川企業団　検索